

講義名称	保育内容 言葉	担当教員名	豊田 順子
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の内容・方法 (PM) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMPM1122

授業のキーワード	「言葉」の学びから子どもの豊かな人間性の育ちを支え、日常生活での言葉の大切さ 面白さに気付いていく
授業の概要	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものです。そこで言葉の発達や指導法について学びます。児童文化財に触れ、豊かな感性を育み、保育技術を学びます。
期待される学習成果 (目標)	他の領域と関連付けながら総合的に考え、子どもと共に生活する中で、言葉を育て、心を育てる事ができます。子どもにとっての「言葉の獲得」を様々な実践事例を理解することができます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明・教科書の扱い方
2	幼児教育の基本 1	・幼児期の特性について 生活、他児との関係
3	幼児教育の基本 2	・幼児期の発達について 発達のとらえかた
4	領域 (言葉) について	領域「言葉」の ・ねらいと内容について
5	乳幼児期の言葉の発達と領域	・からだで感じる世界 ・自分で広げる世界
6	信頼関係から生み出されることば	・発達を支える大人の存在 ・表現の読み取り
7	自分の考えや思いを伝えることば	・相手に伝わることば ・感情体験とことば
8	ことばが広げる子どもの世界	・聞くこと話すことから ・書くこと・読むことへ
9	特別な配慮が必要な子どもとの関わり	・ことばの発達が気になる子 ・保育者の役割・保護者との関係
10	言葉に対する感覚を豊かにする	・ことばの響き ・リズム ・詩やうたとの出会い
11	児童文化財を通して 1	・おはなしについて ・民話や昔話を知る
12	児童文化財を通して 2	・紙芝居の歴史と実践 ・絵本の歴史と内容について
13	児童文化財作りの実践 1	ペーパーサート作り ・グループ毎に、題材決定
14	児童文化財作りの実践 2	・作業をしながらお互いを認め合う ・意見交換をする
15	実践とまとめ	・実践することでの気付き 声の出し方・立位置・色使いなど

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	筆記試験70%、授業貢献度30%
使用する教科書 (必ず購入してください)	『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』(株) 萌文書林
参考文献	随時紹介 (毎授業の前に言葉遊び、伝承遊び、自然物を使った遊びなどを取り入れながら進めていくので、気付きの拠り所にしてください。)